

新潟大学 GIS センター 地理情報システムシンポジウム
にいがた GIS シンポジウム2012
～社会的課題解決のために用いられる GIS～

日程：平成24年 11 月 20 日(火) 9:00 開場 9:30 開会

場所：新潟大学駅南キャンパス ときめいと

新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーカ1 2階 (駐車場はありません。)

参加：一般公開・無料

(情報交換会へ参加される方は、参加費として千円を当日受付にて)

イギリスの科学専門誌ネイチャーでは、今世紀を代表する革新的技術として GIS が位置づけられています。新潟大学では GIS を研究領域にとどめる事無く、社会的課題解消のために産官と連携し、医療、防災、農林、都市経営等、分野横断的に活用し実践の場で用いています。

本シンポジウムは、これらの活動を通じて得られた新たな知見を社会全体と共有する事を目的として開催するものです。

～プログラム～

09:30 開会挨拶

09:40 基調講演

『DPC データ及び GIS を活用した急性期医療資源の地理的配分に関する分析』

国立がん研究センター がん医療費調査室長 石川 ベンジャミン光一

10:40 Coffee break

10:55 医療 session 『医学・医療分野での GIS 活用』

12:25 Lunch break

13:25 政策 session 『行政の課題をどの様にサポートするか』

16:00 閉会

17:00～18:00 情報交換会(同フロアにて)



お問い合わせ先

●新潟大学GISセンター

◇Email

hasegawa19@env.sc.niigata-u.ac.jp

◇ホームページ

<http://env.sc.niigata-u.ac.jp/~giscenter/>

◇参加申込

事前の参加申込は不要です。直接、会場にお越し下さい。お待ちしております。

駐車場は用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。

公共交通をご利用ください。

|主催| 新潟大学 GIS センター、新潟大学災害・復興科学研究所

|協賛| ESRI ジャパン(株)、にいがたGIS協議会

|後援| 新潟市

にいがた GIS シンポジウム 2012

平成 24 年 11 月 20 日 (火) 9:30~16:00
スケジュール

09:00 開場

09:30 開会あいさつ

浮田 甚郎 (新潟大学 GIS センター長)

09:40 【基調講演】

『DPC データ及び GIS を活用した急性期医療資源の地理的配分に関する分析』

石川ベンジャミン光一 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部 がん医療費調査室長)

*****休憩 (10:40)*****

10:55 【医療 session】

医学・医療分野での GIS 活用

①『日本における医師の地理的分布の動向』

鳥谷部 真一 (新潟大学 危機管理部 危機管理室 教授)

②『被災情報の可視化～空飛ぶトリアージタグ“エアタグ”～』

高橋 昌 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 呼吸循環外科学分野 准教授)

③『GIS を用いた放射能汚染の可視化と評価』

菖蒲川 由郷 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 国際保健学分野 助教)

*****午前の部終了 (12:25)*****

13:25 【政策 session】

行政の課題をどのようにサポートするか

オーガナイザー講演

『行政の課題をどのようにサポートするか』

卯田 強 (新潟大学 理学部 自然環境科学科 講師)

*****休憩 (14:15)*****

①『地理空間情報を通して考える野生鳥獣と我々の生活』

村上 拓彦 (新潟大学 農学部 生産環境科学科 准教授)

②『GIS による傾斜地耕地の計画案作成』

吉川 夏樹 (新潟大学 農学部 生産環境科学科 准教授)

③『東日本大震災に伴う避難者移動動向の空間的解析』

鈴木 翼 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 国際保健学分野 博士課程)

***** 閉 会 (16:00) *****

ブース展示

○ArcGIS の活用ヒント。事例を交えながら紹介します。

ESRIジャパン

○新潟大学工学部情報工学科牧野研究室

マップギャラリー

